

八小にこにこ日記(3月25日(水)) 第52回 卒業式



今日は、第52回卒業式を行いました。卒業生の門出をお祝いするかのようにはち小の桜も、綺麗に咲いていました。



卒業生が、音楽室で歌の最後の練習をしました。



音楽室に綺麗な歌声が響いていました。



在校生代表として参加する5年生が、席に着きました。



保護者も席に着き、開式を待ちました。



卒業生が、待機していました。



ご来賓の皆様が、ご入場されました。



入口に、6年担任3人が並びました。



温かな拍手の中、卒業生が入場しました。



卒業証書授与







一人一人、しっかり私（校長）の目を見て、卒業証書を受け取っていました。



とても立派な姿でした。



卒業生の膝の上には、受け取った卒業証書がありました。



【校長式辞】



※校長式辞は、最後にご紹介します。



【教育委員会告示】ノーベル生理学・医学賞を受賞された坂口志文さんの話がありました。



【市長祝辞】東大和市長もご出席いただき、お祝いの言葉をいただきました。卒業生は、「ひとみらいトーク」や総合の「防災プロジェクト」で、市長さんとは多くの関わりをもたせていただきました。



【門出の言葉】一人一人、自分の言葉を大切に言っていました。



5・6年生で、「明日へつなぐもの」を合唱しました。それぞれの声が重なり合い、とても美しいハーモニーになっていました。



門出の言葉の中に、私（校長）へのサプライズがありました。卒業生全員が、私の方を向き、これまでの関わりや感謝を伝えてくれました。



私ごとで申し訳ありませんが、私は、この3月で退職します。今まで、16年間の校長職の中で、1300人以上の卒業生に卒業証書を手渡してきました。校長職の最後に、このようなサプライズがあるとは思ってもみませんでした。とても幸せな時間でした。この子たちが、最後の卒業生で本当に良かったです。



大きな拍手の中、卒業生が退場しました。



卒業生の退場を見送った後、担任3人も退場しました。一段と大きな拍手が起きました。



式後、クラスごとに記念写真を撮りました。
6年1組



6年2組



6年3組



小雨が降ってきましたので、校舎内で、門出送りをしました。ずっと向こうまで、花道が続いていました。







**みんなの温かな拍手の中、卒業生が巣立っていきました。
最後に・・・私も・・・。ありがとうございました。**

学校写真館519

【卒業式の朝】



卒業式の朝・・・誰もいない式場に行ってみました。



椅子が、綺麗に並べられていました。



壇上から、式場全体を見てみました。気持ちが、引き締まりました。



式場の後ろには、「おめでとう」の飾りがありました。





綺麗な花たちが、卒業を祝っていました。



体育館の入口には、大きな卒業証書がありました。



保健室前にも、「卒業おめでとう」の飾りがありました。



**卒業生の教室にも行ってみました。
【6年1組】**



【6年2組】



【6年3組】





たくさんの「おめでとう」が、学校内にありました。

【校長式辞】 ※一部抜粋

**さて、卒業生の皆さん、卒業おめでとうござい
ます。先日、皆さんと校長室と一緒に給食を食べまし
た。そのときの皆さんの素直な受け答えに私は嬉し
くなりました。一緒に楽しんだゲームでは、「次のグ
ループの楽しみがなくなるので、校長室から出たら
いっさいゲームのことは話さない」という約束をし
ました。皆さんは、その約束をしっかり守ってくれま
したね。校長室に可愛いカッパがいることを知って
いるのは、皆さんだけです。学校では、日々の授業と**

ともに、日光移動教室・学芸会・運動会などの大きな行事もありました。学芸会のライオンキングでは、短い練習期間にも関わらず、みんなの気持ちが一つになり、壮大な劇に仕上がりました。運動会では、インフルエンザによる欠席者が多く、本番直前での組体操の組み替えもありましたが、そういう状況を感じさせないくらいの素晴らしい発表でした。再度行った6年生だけのミニ運動会では、みんなが揃った組体操を再度披露してくれました。

新たな世界に夢と希望をもって羽ばたこうとしている卒業生の皆さんに、私は、いつも学校で話してきた「かかわり」「挑戦」「信頼」という三つの言葉を贈りたいと思います。

まずは、「かかわり」です。これから皆さんが歩んでいく道には、家の人・先生・友達等多くの方々とのかかわりがあります。ぜひ一つ一つのかかわりを大切にしていってください。そして、そのかかわりの中からいろいろなことを学び、自分自身の成長につなげていってください。かかわりが多いほど、人として豊かになっていけます。

次は、「挑戦」です。この言葉には、いつも前向き

さがあります。これからの長い人生、様々な岐路があることと思います。選択に迷ったときには、ぜひ消極的ではなく積極的な生き方を選んでいってください。何事も、やってみなければ結果は出ません。やる前からあきらめてしまうのは、本当にもったいないです。自分に自信をもって、様々なことに積極的に挑戦していってください。

最後は、「信頼」です。人とのかかわりで大切なことは、お互いを信頼し合うということです。周りの人を信頼するとともに、周りから信頼される人になっていってください。そのためには、自分自身にうそをつかず、誠実・前向きに生きていくことです。自分が自分を好きになり信頼することです。そうすれば、周りからも信頼されるようになります。

八小でいつも話してきた「かかわり」「挑戦」「信頼」という言葉は、これからも皆さんをしっかり導いてくれます。

在校生を代表して参加している五年生の皆さん。いよいよ皆さんが、東大和市立第八小学校の中心と

してみんなを引っ張っていく番です。これまで、様々な行事や委員会・クラブ・たてわり班活動などで卒業生の皆さんからいろいろ教えてもらいました。これからは、皆さんが、学校のおき伝統を受け継ぎ、新たな学校を創って行ってください。よろしくお願いします。

卒業生の皆さん。あなたたちは、私ども教職員にとって自慢であり誇りでした。皆さんと一緒に過ごせた幸せを感じています。

第八小学校の校庭が色とりどりの花で囲まれた頃には、中学生になった皆さんが、希望に満ち、瞳輝かせて中学校生活を送っていることと思います。

洋々たる限りない未来の前途を祝福して式辞といたします。